ＴＩＮＡ　ティナ（1993）

TINA: WHAT'S LOVE GOT TO DO WITH IT

メディア 映画
ジャンル 伝記　音楽
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 118分
初公開日 1993/10/02
公開情報 ブエナ

【解説】

“What's Love Got to Do with It”で見事にスターダムに復帰した元アイク＆ティナ・ターナーの、ティナの波乱に満ちた半生記。テネシーの片田舎で親戚に預けられ育ったティナは父なし子。ようやく母と妹と暮らせるようになったが、生活は貧しかった。やがて旅回りのＲ＆Ｂバンドに魅了され、都会へ出た彼女は人気バンドのリーダー、アイク（Ｌ・フィッシュバーン）と結ばれる。彼のギターと彼女の唄で大いに売り出したコンビは、ロック・ミュージシャンに支持され、国際的にも成功を収めるが、７０年代に入って人気は下落。そもそも暴力的傾向の強かったアイクは酒に溺れ、日夜、彼女を傷つける。息子たちにまで被害の及ぶのを恐れたティナはまさに逃げるように彼の下を去り、しばらく芸能界との接触を断つが、’８３年に呼び戻され先の大ヒットを放つ。不遇の日々の中で、彼女が見いだした光明は仏教だったというのは有名な話だが、線香を立て無心にお題目を唱えるシーンは少し面映ゆい。主演のＡ・バセットは、ティナのような筋肉質の身体に肉体改造までして挑んだ迫真の演技で、オスカー候補となった。

【クレジット】

監督	ブライアン・ギブソン	Brian Gibson
製作	ダグ・シャピン	
	バリー・クロスト	Barry Krost
製作総指揮	ロジャー・デヴィース	
	マリオ・イスコヴィッチ	Mario Iscovich
原作	ティナ・ターナー	Tina Turner
	カート・ローダー	Kurt Loder
脚本	ケイト・ラニアー	Kate Lanier
撮影	ジェイミー・アンダーソン	Jamie Anderson
音楽	スタンリー・クラーク	Stanley Clarke
出演	アンジェラ・バセット	Angela Bassett
	ローレンス・フィッシュバーン	Laurence Fishburne
	ヴァネッサ・ベル・キャロウェイ	Vanessa Bell Calloway
	ジェニファー・ルイス	Jenifer Lewis
	フィリス・イヴォンヌ・スティックニー	Phyllis Yvonne Stickney
	カンディ・アレクサンダー	Khandi Alexander
	ヴァージニア・ケイパーズ	Virginia Capers

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.